

【付録1】本誌における用字，用語基準

本誌に用いる用字，用語は原則として，常用漢字表(昭和56.10.1，内閣告示第1号)，現代仮名遣い(昭和61.7.1，内閣告示第1号)，送り仮名の付け方(昭和56.10.1，内閣告示第3号)に記載してあるものに従うが，次の「仮名と漢字の使用例」にあるものは，それぞれに従うこと。

【仮名と漢字の使用例】

必ず仮名書きとする	<p>あらかじめ，あらゆる，ある(或)，いう，いかなる，いずれ，いわゆる，うえ， おいて，おって，およそ，および， がある，がない，ことに，ごとく，ごとに，これ， しかし，したがって，しばらく，してみる，すこぶる，すなわち，すべて， すること，するとき，するほど，それ，それら，それゆえに，それくらい， ただ，たちまち，だれ，ちょっと，ついて，できる，でよい，とともに，どこ，という， なお，など，ならびに，にすぎない，のとおり，のとき，のところ，のほか，のように， はず，ほとんど，ほぼ，まず，また，まで，もちろん，もしくは，もっぱら， やや，よって，わずかに，わたって，われわれ(我々)</p>
原則として漢字で書く	<p>私，彼，彼女，何，余り，恐らく，至って，大いに，必ず，概して，極めて， 実に，更に，既に，少し，切に，その際，絶えず，互いに，例えば，次いで， 次に，努めて，常に，特に，突然，に従って，に及ぼす，の場合，の間に， 初めて，果たして，再び，普通，全く，無論，最も，割に，来る，去る</p>

【誤りやすい送り仮名】

送り過ぎに注意 (行なう 行う)	<p>失う，行う，補う，償う，伴う，担う， 輝く，傾く，貫く， 表す，著す，現す，唆す，耕す， 脅かす， 慎む，謹む， 誤る，謝る，偽る，翻る，賜る，断る，上回る， 表れる，著れる，現れる， 荒い，幼い，汚い，短い， 著しい，悔しい，珍しい，難しい， 輝かしい，必ず，喜ぶ，公，己，塊，気短，手先，懐，間近，身近</p>
送り不足に注意 (省る 省みる)	<p>省みる，顧みる，異なる，損なう，慌ただしい，恐ろしい，懐かしい， 恥ずかしい，鮮やか，軟らか，狩り，祭り，情け，災い</p>

【送り仮名の付け方 抜粋】

活用のある語	書く, 催す, 生きる, 考える, 荒い, 賢い, 濃い, 主だ, 惜しい, 細かだ, 明らかだ, 滑らかだ, 柔らかだ, 明らむ, 教わる, 異なる, 群がる, 明るい, 危ない, 大きい, 少ない, 小さい, 冷たい, 同じだ, 盛んだ, 着る, 寝る, 来る, 動かす, 照らす, 向かう, 浮かぶ, 踏まえる, 押さえる, 聞こえる, 起こる, 変わる, 定まる, 交わる, 混ざる, 重んずる, 確かめる
活用のない語	辺り, 幾ら, 後ろ, 傍ら, 便り, 半ば, 斜め, 自ら, 災い, 一つ, 二つ, 動き, 恐れ, 稼ぎ, 調べ, 届け, 眺め, 願い, 当たり, 代わり, 向かい, 狩り, 答え, 問い, 群れ, 憩い, 憂い, 香り, 極み, 初め, 近く, 遠く, 暑さ, 大きさ, 正しさ, 確かさ, 明るみ, 重み, 憎しみ, 惜しげ (例外)氷, 印, 煙, 恋, 志, 次, 隣, 富, 恥, 話, 光, 折, 係, 掛, 組, 割, 元
複合の語	書き抜く, 流れ込む, 申し込む, 打ち合わせる, 向かい合わせる, 長引く, 聞き苦しい, 薄暗い, 待ち遠しい, 望み薄だ, 斜め左, 物知り, 先駆け, 手渡し, 乗り降り, 抜け駆け, 取り扱い, 引き換え, 歩み寄り, 申し込み, 早起き, 大写し, 粘り強さ

数 字

数字は、原則としてアラビア数字を用いる。ただし、次のような場合には漢字を用いる。

- 1) ひと(つ), ふた(つ)のように読む場合。
三つ目きり, 3本一組
- 2) 数の概念が薄い場合。
一般用
- 3) 概数を表す次の例のような場合
十数倍
- 4) 大きな数を表すのに、アラビア数字と併用する場合。
2万回
- 5) 慣用となっていると認められる場合
一酸化炭素, 二等辺三角形, 二乗, 四門照射, 一次放射線

外来語

原則として、片仮名書きとする。

アーチファクト, アナログ, エコー, スライス, ピクセル, マトリクス

英語の場合、つづりのおわりの-er, -or, -arなどを仮名書きにする場合には、次の方針によって語尾の長音符号「ー」を略した。

- 1) その言葉が3音節以上の場合には、語尾に長音符号を付けない。
トランジスタ(transistor), フィルタ(filter), エレベータ(elevator)

- 2) その音節が2音節以下の場合には、語尾に長音符号を付ける。

カー(car), カバー(cover)

- 3) (a)長音符号で表す音, (b)はねる音および(c)つまる音は、それぞれ1音節と認め、(d)よう音は1音節と認めない。

(a)モータ(motor), (b)タンパ(tamper), (c)ニツパ(nipper), (d)シャワー(shower)

- 4) 組み合わせた言葉は、それぞれの言葉について上記の1)また2)を適用する。

モーターカー(motorcar), サーベイメータ(survey meter), デンシトメータ(densitometer)

- 5) -gy, -pyなどは、表音符号を付ける。

エネルギー(energy), エントロピー(entropy)

- 6) -phyは、原則として、-フィとして長音符号は付けない。

ラジオグラフィ(radiography)

- 7) 外国の地名, 人名には、この方針を適用しない。

シュラー(Schüller), ウィナー(Wiener)

同位元素の質量数の表示

¹²³I, ^{99m}Tc, ⁶⁰Co